学校番号	412

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、
　感じ取ったことを共有する「鑑賞」の分野について学習します.
・一人ひとりの自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう.
・他者と違った見方を「鑑賞」で共有すると、自分の感覚が更に広がったり深まったりします.

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、
　意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする.
・造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、
　主題を生かして独創的に表すことができるようにする.
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、
　感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う.

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫することができる.	・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、目的や機能などに応じた表現形式を選択することができ、形体や色彩、構成について考え、主題に合った表現方法を個性豊かに発想し構想を練ることができる.	・美術の創造活動のよさを味わい、日本および諸外国の美術作品の鑑賞活動を通じて多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている.
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・オリエンテーション ・美術の授業の説明 【鑑賞】 ・西洋絵画と日本絵画の作品を鑑賞 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深めるとともに、作品に込められた思いや願いを感じ取る.	a:形や色、材料、光などが感情にもたらす効果を理解し、全体のイメージや作風・様式などの造形的な特徴を基に作者の意図を汲み取ることができている. b:作者が作品に込めた思いや願いを感じ取り、西洋・日本の美術の歴史や表現の特質について考え、見方や感じ方を深めている. c:主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、西洋・日本の美術の歴史や表現の特質について考える「鑑賞の創造活動」に取り組もうとしている.	発問評価 ワークシート 活動の様子	ワークシート	ワークシート 活動の様子 振り返りシート
	誘発されるイメージ	【絵画】 ・マーブリング、フロッタージュ、デカルコマニーなどの手法を使った作品やシュルレアリスムの作家の作品を鑑賞する. ・アクリル絵の具・透明水彩絵の具、クレヨン・ペンなどを使って様々なテクニックを体験する. ・相互鑑賞	a:偶然の効果を生かした主題のイメージに基づいて構想し、技法を生かした計画的な制作をすることができている. b:偶然が作り出す不思議な形から自分のイメージした主題を決め、独創的な表現を構想することができる. c:イメージされる形を基に、心に浮かぶ世界を大切にして自分独自の表現に取り組もうとする.	作品	スケッチブック 画用紙	制作の様子 振り返りシート

2学期	自分のロゴマークを作ろう	【デザイン】 ・アイデアスケッチ デザイン案を考える. ・決められた縦・横の大きさに清書する. ・トレーシングペーパーで完成したデザインを写す. ・版の上にトレーシングペーパーを裏返しにして写す. ・着色作業 ・発表と鑑賞	a:意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法などを工夫し、目的や計画をもとに創造的に表現することができている. b:伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている. c:主体的にロゴマークデザインの造形的なよさや美しさを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている.	アイデア スケッチ 作品	作品 鑑賞シート	制作の様子 振り返り シート
3学期	「好き」を極める(自己をあらわす)	【絵画・彫刻、デザイン】 ・絵画・彫刻、デザインなど様々な方法で自己をあらわすことに関心を持ち、自分を見つめ、感じ取ったことから主題を生成する. ・主題をもとに作品形態や表現方法、用具の使い方などの構想を練る. ・形や色、材料などを工夫し、用具の特性を生かして制作する. ・完成した作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う. ・レポートを書く. ・作品返却	a:意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的に表すことができている. b:自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、材料の質感や量感を生かした表現方法などについて考え、創造的な表現の構想を練っている. c:主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている.	アイデア スケッチ 作品	アイデア スケッチ	制作の様子 鑑賞の様子 振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度